

動物病院で本当に使える

経営と節税の賢い戦略

著者 河野 富彦
(税理士法人マイスター 代表社員 税理士)

第3回 経営理念の活用と課題の解決



はじめに

全仏オープン(テニス)が注目されましたが、我が家の中学3年の長男もテニス部です。大会に出ますが、いつも1回負けでした。ところが、5月の名古屋地区予選は、5回戦まで勝ち上がり、240名のうちベスト16になりました。驚きです！なぜ急に上達したのでしょうか？

成長の秘訣は、プロコーチ(東京から遠征)に教わったからなんです。学校の部活、2つのテニススクールに通って練習してきましたが、成果が出ませんでした。

それが、時間としては限られた月に1回3時間のプロコーチの指導を10カ月続けて受けることで、やっと花開き大きく飛躍できました。

今回は、動物病院のマネジメント3つのポイント「成長戦略」×「組織効率」×「モチベーション」のうち「成長戦略」について、「経営」と「テニス」を関連させながら、成長するにはどうしたらいいのかを皆さんと一緒に考えたいと思います。それでは、元気に行きましょう！



経営理念は必要なのか？

経営理念(コンセプト)として、以下は有名ですね。ユニクロ「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」、スターバックス「コーヒーを売るのではなく第三の場所を提供する」、ソフトバンク「情報革命で人々を幸せにする」。

院長先生方の動物病院では、どんな理念やビジョンを掲げていますか？ また、見直しをされていますか？

社是や経営理念など、さまざまな呼び方がある企業コンセプトですが、経営の基盤や事業の方向性を明確にするため、MVVの形式で作成することが多いです。MVVとは、経営学者ピーター・F・ドラッカー氏が提唱した経営方針で、英語のMission(ミッション)・Vision(ビジョン)・Value(バリュー)の3つの頭文字を訳したものです(図1)。

位置づけとして、ミッションという存在意義があって、それを未来に実現するときの理想の姿がビジョンになり、具体的な行動指針がバリューという関係です。

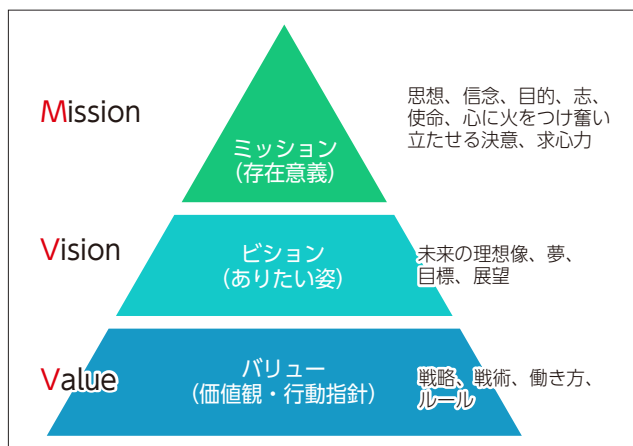


図1. MVV(ミッション、ビジョン、バリュー)経営理念

MVVを一体で経営理念とする考え方もあります。

さて、経営理念は本当に必要なのでしょうか？いくら立派な理想を掲げても、額に飾ってあるだけで問題は放置したまま、現実に向き合わない、むしろ